

令和6年第11回

荒川区教育委員会定例会

令和6年6月14日

於)尾久第六小学校 ランチルーム

荒川区教育委員会

令和6年荒川区教育委員会第11回定例会

- | | | |
|--------|---|--|
| 1 日 時 | 令和6年6月14日 | 午後2時45分 |
| 2 場 所 | 尾久第六小学校 ランチルーム | |
| 3 出席委員 | 教 育 長
教育長職務代理者
委 員
委 員 | 高 梨 博 和
小 林 敦 子
長 島 啓 記
坂 田 一 郎 |
| 4 欠席委員 | 委 員 | 繁 田 雅 弘 |
| 5 出席職員 | 教 育 部 長
教育総務課長
教育施設課長
教育施設担当課長
学 務 課 長
指 導 室 長
教育センター所長
生涯学習課長
ゆいの森課長
書 記
書 記
書 記 | 三 枝 直 樹
山 形 実
田 中 欣 也
井 上 千 恵
渡 辺 裕 登
下 条 知 淑
杉 山 茂
篠 原 啓 輔
青 谷 宗 彦
齋 藤 一 幸
吉 田 夏 彦
宮 島 弘 江 |

(1) 報告事項

ア 第43回「あらかわの伝統技術展」の開催について

イ 柳田邦男絵本大賞事業の実施について

(2) その他

教育長 定刻になりましたので、ただいまから荒川区教育委員会令和6年第11回定例会を開催させていただきます。

初めに、出席者数の御報告を申し上げます。本日、4名出席でございます。

議事録の署名委員は、長島委員、坂田委員、御兩名にお願いしたいと存じます。よろしく申し上げます。

3月15日開催の第5回定例会及び3月29日開催の第6回定例会の議事録を皆様にお送りしてございます。

次回の定例会で承認についてお諮りしたいと考えてございます。恐縮ですが、次回までに御確認いただき、お気付きの点等について事務局まで御連絡をお願いします。

それでは、ただいまから本日の議事日程に従いまして議事を進行させていただきます。

本日は、報告事項が2件となっております。

初めに、報告事項ア「第43回『あらかわの伝統技術展』の開催について」を議題とします。生涯学習課長、説明をお願いします。

生涯学習課長 生涯学習課長篠原でございます。よろしくお願いします。

今回御報告させていただきますのは、43回を迎えます「あらかわの伝統技術展の開催について」御案内、御報告するものでございます。

江戸時代から受け継がれた伝統工芸技術の手作りのすばらしさを広く紹介する事業として、本年43回目を迎えるというところでございます。

例年御報告させていただいております。今年の開催は資料記載のとおり、令和6年7月12日の金曜日から7月14日の日曜日、3日間開催する予定でございます。また、金曜日には、開会セレモニーを午前9時から始めさせていただきたいと考えてございます。

また、教育長、教育委員の皆様におかれましては、本日、御案内状をお持ちさせていただいております。後ほどお渡しできればと考えてございます。

会場は、荒川総合スポーツセンターの2階にございます大体育室卓球場でございます。

この伝統技術展につきましては、もう御存じの方、御承知の方、多いと思いますが、区内外の約50人の職人の方が集まる実演や販売、体験ができる技術展となっております。また、今回、区外の職人の方も5名、それから交流都市であります福島市、福井県からも4名の職員の方が御参加いただくとともに、また荒川マイスターの方も2名、御参加をいただくといいところでございます。

昨年からの変更点としましては、今年、都知事選の影響で開催週が1週変わってございます。例年、1週目に開催しているところ、2週目に変わっていると。その日程が変わった関係で、例年、2階に芭蕉庵という茶房、茶席を設けていたのですが、都の展覧会と重なって

しまった関係で、華道茶道連盟の方の御参加が難しいということで、2階の芭蕉庵があったスペースについては、麦茶を出して休憩できるスペースを設ける予定となっております。

また、今回、区内の飲食店の方にお声がけしまして、卓球室にも、あんみつのような水菓子なども販売できるようなブースを出展する予定でございます。

雑駁ではございますが、御報告、御案内は以上となります。よろしく申し上げます。

教育長 ただいまの説明につきまして、御意見、御質問等ございましたら申し上げます。

いかがでしょうか。

坂田委員 後ろのほうに参加者の方々のリストがありますけれども、基本的には去年並みということなのでしょう。

生涯学習課長 はい、開催規模としては、昨年、フルスペック、制限なしという形で実施した昨年度と同じ開催規模となっております。

坂田委員 あともう一つ、各学校との関係はどのような感じなのでしょう。

生涯学習課長 今回、小学校4年生が、2校が日程で御参加できないということがありましたが、それ以外の学校は全て御参加いただけるということで、御返事をいただいているところでございます。

教育長 そのほかいかがでしょうか。

篠原課長、その参加できない学校についても、技術展は土曜日、日曜日もやっていますから、学校としては行けなくても、御家族で行っていただいたりもできます。ですから、その御案内も、4年生だけではなく周知について指導室にも協力いただいて、学校側に働きかけをしてもらえればと思います。

生涯学習課長 承知しました。

教育部長 ちなみに、チラシも2枚ついていますので、御参考までに。

小林委員 ありがとうございます。大学にいる留学生にもぜひ宣伝をしておきたいと思います。

私も行かせていただくことを楽しみにしております。よろしくお願いいたします。

教育長 そのほかいかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

(「なし」の声あり)

教育長 教育委員の先生方には、展示だけではなくて、即売もしておりますので、ぜひお財布をお持ちいただいて、お買い上げいただければと思います。

それでは、本件については報告了承とさせていただきます。

次に、報告事項イ「柳田邦男絵本大賞事業の実施について」を議題とします。ゆいの森課長、説明をお願いします。

ゆいの森課長 柳田邦男絵本大賞事業の実施について御説明します。

ポイントでございますが、これまでの柳田邦男絵本大賞事業の取組を総括し、これまでの取組を記念誌としてまとめることにしましたので、報告するものでございます。

柳田邦男絵本大賞事業について、柳田氏に今回相談し、協議したところ、一旦これまでの取組を総括することとなり、ついてはこれまでの取組を記念誌としてまとめることとなりました。

今回の記念誌の内容の案でございますが、柳田氏のメッセージ、区長の挨拶文、絵本大賞開催の趣旨・目的、絵本大賞の歴史、歴代の受賞作品及び各作品に対する柳田氏からのコメント、柳田氏と歴代受賞者、柳田氏と区長の対談文等を記念誌の内容としているところでございます。

なお、令和6年度、本年度の柳田邦男絵本大賞の実施は見送ることとなりました。

参考ではございますが、これまでの柳田邦男絵本大賞について書かせていただいているところでございます。

平成21年1月には、柳田邦男絵本大賞の創設。大人と子どもの部分を分け、柳田氏宛ての手紙という形式で絵本の感想文を書いてもらい、感想文を選出する方式で、広く応募を呼びかけたものでございます。

以降は毎年、絵本大賞を実施しており、これまでに計16回実施しまして、応募総数は1万6,698人、表彰式では柳田氏からの講評や入賞者との座談会を実施してまいりました。

説明は以上でございます。よろしく申し上げます。

教育長 ただいまの説明につきまして、御意見、御質疑等ございましたらお願いします。

小林委員 柳田先生は長年にわたりまして、荒川区の読書文化、また絵本文化の醸成のために御貢献くださいました。

また、絵本に関するこういった賞は全国的にもそれほど多くあるわけではありませんので、その意味では非常に大きな役割を果たした賞です。柳田先生には本当に感謝しております。

この間、この賞のおかげで多くの絵本好きの子ども、生徒、また学生を育ててきたと思うのです。そういった彼らが、これからこの絵本文化というものを荒川区におきまして継承、発展してくれることを心から願っております。

本当に柳田先生、ありがとうございました。

ゆいの森課長 今、委員からも大変ありがたいお言葉をいただいたところでございまして、今後、柳田先生に会ったときには、委員からのありがたいメッセージも伝えさせていただきます。

ゆいの森あらかわには、柳田邦男絵本館と銘打ちまして、3万冊もの絵本の蔵書がござい

ます。柳田先生からは「絵本は人生で三度楽しめる」という御指導の下、ゆいの森の起草のときから柳田先生には携わっていただいております。これまでの事業を総括し、すばらしい記念誌を作ってまいりたいと考えてございます。

教育長 そのほかいかがでしょうか。

長島委員 柳田先生の御意向で、その取組を総括して、記念誌を作成する、まとめるということとは理解できるのですが、そのことと、今年度実施を見送るということとは、ストレートにはつながらないところもあるような気がするのですが、今年度それを実施しないということについて、柳田先生の御意向というか、その辺、もう少し差し支えない範囲でお聞かせ願いたいなと思います。

ゆいの森課長 今回、絵本大賞を実施せずに記念誌を作るというのは、柳田先生からの意向でございます。こちらのほうも、例えば両方やることもできますし、絵本大賞を今までどおり実施することもできます。そういった選択肢の中から、柳田先生との打合せの中で、絵本大賞は今回一旦見送り、総括した絵本大賞の記念誌を作ろうと。なかなかやはり絵本大賞の採点などというのも、先生にとってもかなり負担となるものと聞いておりましたので、今回、先生からは、記念誌の作成ということ伺っております。

また、荒川区だけではなくて、ほかの自治体で、矢祭町や三郷市、そういったところでも柳田先生は、絵本大賞ではないのですけれども、絵本に対する取組の協力をしているとも聞いております。大変お忙しいというところもあるようなことも、受け止めてはいるところでございます。

長島委員 分かりました。ありがとうございます。

教育長 そのほかいかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

(「なし」の声あり)

教育長 それでは、本件についても以上とさせていただきます。

次に、その他の報告事項として、教育委員会の日程等について、山形教育総務課長、お願いいたします。

教育総務課長 13ページを御覧いただければと思います。今回、日程等の修正はございません。

ただ、先ほどから出ておりました7月12日、ちょうど伝統技術展を開催している日に、定例会もございますので、併せて御視察等も可能となっているところでございます。

御報告は以上でございます。

教育長 よろしいでしょうか。

(「なし」の声あり)

教育長 それでは、以上をもちまして教育委員会令和6年第11回定例会を閉会とさせていただきます。

了